

祝！ 創刊100号記念、ウェルビーイングにつながるセレクト。

ベジィ
vol.100

楽しむウェルネスライフ

veggy



Anniversary Issue



ベジィが選ぶ
ヒト・コト・モノ



萬憲彰

Yorozu Kenshou

消化器内科専門医 / よろずクリニック理事長
日本先制臨床医学会理事(統合治療研究部会部会長)
国際水素医科学研究会副理事長

鳥取県鳥取市によろずクリニックの理事長で、消化器内科を専門とする医師。クリニックでは、一般保険診療、人間ドック、健康診断、がんの早期発見を目的とした健診、慢性的な高血圧や糖尿病の治療を担当。また、自由診療にも積極的に取り組み、標準治療で対応が難しい病気に対して、医療技術を提供。具体的には、がんの早期発見のための新しい検査や腸内細菌移植、先進的な免疫治療などを実施。全国各地から訪れる患者様と真摯に向き合い、最善の医療を提供。
yorozu-cl.com



“がん時代”を生き抜くために 「希望のがん治療」を届けていく

書籍『希望のがん治療 大病院が教えてくれない最新治療の効果と受け方』が話題を集める、
鳥取県鳥取市で「よろずクリニック」とウェルビーイングに特化した「WELL BEING GROUP 0」を営む
萬憲彰先生が本誌初登場！ 2人に1人ががんになる時代を生き抜くためのヒントを探しに、編集部は鳥取県へ
向かいました。そこには、萬先生が世界中のがん患者から信頼される確かな理由があったのです。

写真／竹内進岳 インタビュー・文／編集部 構成／大崎晋作

あらゆる手段を駆使して
がんと向き合うために
——萬先生は本誌初登場ということですが、まずは「よろずクリニック」はどのような治療をされているのか教えていただけますか？

よろずクリニックは開業から今年で14年になりますが、通常の保険診療に加えて、開業3年目から自分自身としてもまったく未知だった保険外診療に取り組むようになりました。鳥取には当時、代替医療を提供する医療機関はほとんどなかつたのですが、私が最初に取り組んだことは「患者さんの声を聞く」ということでした。さまざまなお話を聞き、それに応えられるものを探し、勉強を重ね、提供していくというサイクルを繰り返していました。そして、現在ではそこで得た知見から「統合腫瘍治療」を提唱するに至りました。近年は市外・県外だけでなく、中国や韓国など世界各地から当院を訪れる方も少なくありません。

すべて自費でがん治療を行おうとすると莫大な費用がかかるため、保険診療もうまく使うべきなのですが、標準治療には最大の欠点があります。それは、「患者の免疫を活用する」という発想がないということです。薬剤でがん

を壊すだけならいいのですが、患者さんの免疫にもダメージを与えてしまうことが標準治療の特徴にして瑕疵だと思います。そのため、最初の段階から標準治療を拒絶して当院を訪れる方も少なくありません。

一方の代替医療ですが、従来は「免疫を高めればがんは治る」というアプローチが主流でした。実際、当院にも食事療法やホルミシス療法などを行つて免疫を高める取り組みをされていました、還元陶板浴などで体を温めたりして免疫を高める取り組みをされた方が来院され、「がんが一向に小さくならないんです」と仰る方がいらっしゃいます。しかし、そもそも自分の免疫がしっかりと機能していたら、がんになつていなかっただけです。

例えば、体内でがん細胞のもとになる細胞の損傷や突然変異が発生したときに、がん抑制遺伝子が働いて損傷を修復してくれるか、細胞が自死するアポトーシスが起こつて自然消滅するようになつています。(ごく稀に、免疫に壊されなかつたものや自死しなかつたものが異常な状態のまま生き残つてしまい、やがて増え続けて大きな腫瘍(悪性新生物)となり、周囲に広がつたり(浸潤)、別の臓器やリンパ節に飛び移つたり(転移)していくのです。

がん治療のアプローチをわかりやすく農業に例えてみましょう。食事療法や睡眠、メンタルケアなどのセルフケアは、自分の体をメンテナンスして、治療に反応しやすい体をつくることなのでとても大切です。これを農業に例えると、「土を耕して土壤を整える」ということになります。次は、自身の免疫力を賦活させたり、がん細胞そのものを弱体化させる療法です。具体的には、水素吸入療法や温熱療法(ハイパーサーミア、マイクロウェーブ)、サプリメント、丸山ワクチン、高圧酸素療法などです。これを農業に例えると「肥料を与えること」になります。ただ、土を耕して肥料を与えて、結局は「種」を植えなければ作物は何も生えません。がん治療における「種」とは、「直接がんを取り除く、または破壊してがん抗原を提示する」ということに他なりません。前者は手術のことですが、後者のがん抗原を提示するとは、がん細胞はこういうものだと指令を出して体の免疫システムに教えること。それをやらずに代替医療だけを行うことは、結果が出なくて仕方ないと言えるでしょう。

だからこそ、最初に何をするべきかを考える必要があるのです。手術をしても、がん細胞がひとつでも残つてたら、それが分裂を繰り返しやがては

再発してしまいます。手術しただけでは体の免疫システムを駆使することができません。私が目指しているものは、「患者さん自身に自分でがんを治す力をつけてあげたい」ということです。自分で治せる体を作るために、代替医療であろうと標準治療であろうと関係なく、あらゆる手段を使うべきなのです。

がんへの対抗手段 可能な限り網羅する

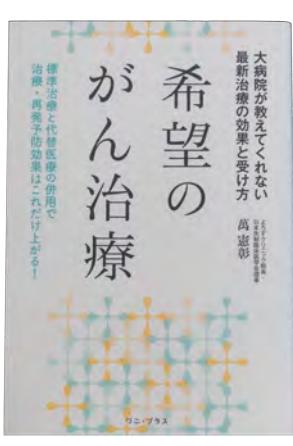
——萬先生の想いは、よろずクリニックで受けられる代替医療の数々が物語っています。このスタンスの原動力はいったい何があるのでしょうか?

私は基本的に「イエスマン」です。患者さんが困つていたら、自分にできることはやるという姿勢は、代替医療を取り入れ始めた開業3年目の頃から変わりません。困つている方がいたら、自分ができる範囲でなら何でも協力するというスタンスです。困つている患者さんがたくさんいるわけですから、私の使命は患者さんの「困つた」を「よかつた」にしてあげること。そのため、どんどん選択肢を増やしていくしかないといけません。現在、よろずクリニックでは、自家がん免疫療法、光がん免疫療法、遺伝子治療、複合ハイブ療法、高

濃度ビタミンC点滴療法、温熱療法(局部温熱療法・マイクロ波温熱療法)、水素ガス吸入療法、樹状細胞療法、細胞の微小環境を整えるアルカリ化療法など、がん治療では標準治療として認められていない代替療法を数多く提供しています。

標準治療はガイドラインに沿つて提

供されるものなのですが、そこに書かれているすべての治療法をやり尽くしてしまうと、医師としては選択肢がなくなってしまいます。そうすると、患者さんがまだまだ体力もあって元気だったとしても、医師としては「これ以上、打つ手はありません。あとは緩和ケアしかありません」とお伝えしな



希望のがん治療 大病院が教えてくれない 最新治療の効果と受け方

著者 萬恵影
価格 1,980円(税込)
発行 ワニ・プラス

萬先生が2023年に刊行した初の書籍。がんの最新治療・代替医療に期待される効果、効果が出る仕組みをわかりやすく紹介。必要な治療期間や費用も含め、患者の目線に寄り添つて解説した一冊です。

よろずクリニックで受けられる治療の一部



1.2. 「WELL BEING GROUP 0」に昨年導入されたのが、高周波温熱療法治療「ハイパーサーミア」。脳と目以外のほとんどの固体がんに適応し、浅部から深部までがん組織を選択的に加温することで効率よく治療が行えるだけでなく、身体の負担が少ないことが特長です(この治療は保険適用されます)。3.4. 水素ガス吸入は萬先生の治療のベース。よろずクリニックでは、2022年に世界で初めて高加圧(1.9気圧)の酸素・水素吸入用カプセルを導入しています。5. 8時間以上かけて作った「トロン原液」を手足浴器に入れ、お湯で希釈して入浴できる「トロン温浴」。6. 腸内洗浄(コロンハイドロセラピー)で腸内環境を改善。7. 静脈内、間質内、関節内および光線力学的レーザー治療に対応する世界初のシステム「光抗酸化療法MLDSTM(Multi-Laser Delivery System)」も導入。8. 「スペクトラ オブティアTM遠心型血液成分分離装置」は、がん免疫療法に使用。

くてはいけない状況が待っています。ある日、突然「がん難民」になってしまふのです。その空白の時間はまさに地獄です。治療という希望が絶たれてしまうことで、心身に大きなストレスがかかり、免疫力も低下してしまいます。それはがんを進行させて症状の悪化につながります。ガイドラインには記載されていないけれど、受けてみる価値のある治療はたくさんあるわけですから、医者がその選択肢を提示できるようになつた方がいいのです。「あなたの場合は、こういう治療を行えばいい」「この治療はまだ標準治療に入つてはいないけど、可能性はあるし、やってみる価値がある」と。私は、標準治療ではないものの海外ではすでに行われている治療法や、なんらかの有効性が認められている治療法を提供し、ひとりでも多くのがん難民を減らしたいと思っています。結果的に、一箇所の病院で受けられるがん治療法の選択肢の多さは、現在日本で一番であると自信しています。

「がんに嫌われるからだ」
それを目指していく

—萬先生の書籍『希望のがん治療』の第6章「がんに嫌われるからだをつくる」は、まさに本誌読者にとつても

必読の内容となっています。

がんは遺伝子の突然変異によつて起ころる病気ですが、その変異を起こす要因の65%が生活習慣であるということを知つてもらいたいですね。これはハーバード大学の研究グループが発表したものですが、65%の内訳としては、たばこが30%、成人期の食事・肥満が30%、運動不足が5%となつています。つまり、自らが意識して気をつけねば、ある程度は予防が可能な病気であると言えるのです。とはいっても健康な人でも毎日がん細胞が5千個くらいは生まれているわけですので、免疫力や体力を底上げして「がん細胞

が生まれにくいいからだ」がんに嫌われるからだ」をつづります。食事、腸内環境の改善、喫煙や飲酒の制限、入浴による基礎体温

萬先生の治療を受けたい方は
鳥取市の「よろずクリニック」へ



萬先生の診療を希望する方は
よろずクリニック

住所 鳥取県鳥取市美萩野1-118-4 / TEL 0857-59-0433 / 受付時間 9:00~12:00 / 15:00~18:00(木曜と土曜は午前診療のみ) / 休診日 日曜日 / URL yorozu-cl.com / アクセス JR山陰本線末恒駅から徒歩10分



ウェルビーイングを高める総合施設

WELL BEING GROUP 0

住所 鳥取県鳥取市美萩野1-118-5 / TEL 0857-59-6050 / 営業時間 健康施設 平日10:00~19:00(最終受付18:00) 土曜日10:00~17:00(最終受付16:00) カフェ 10:00~17:00
定休日 日曜、祝日 / wellbeing_group0



萬先生が取り扱うサプリメント

左)HG EVO

60カプセル入り 10,500円(税込)
90カプセル入り 15,000円(税込)

右)NMN

90カプセル入り 18,000円(税込)

摂取することでアルカリの腸内環境下で主成分であるケイ素が水と反応し、腸で24時間以上水素を発生させることが特長。水素発生量は1g(3粒相当)で800ml以上。NMNも含有したタイプも新登場。

の上昇、適度な運動、睡眠の向上、メンタルケアによるストレスの軽減などは当然実践してもらいたいことですが、なによりも知つてほしいことが「慢性炎症」によるがんのリスクです。慢性炎症は生活習慣によつて発生することが多く、がん以外にもさまざまな病気の原因となります。慢性炎症がある場所には活性酸素が発生し、それがDNAを損傷させて、エラーを起こすことでがん細胞の形成につながります。ベジィ読者にとって最も馴染みが深い慢性炎症の例を挙げると、「リーキーガット症候群(腸管壁浸漏)」があります。これは慢性腸炎になります。他にも、胃がんの原因の9割以上はヘリコバクター・ピロリ菌感染による慢性胃炎ですし、C型肝炎、B型肝炎、アルコール性肝炎、慢性肝炎は最終的に肝臓がんへと至る可能

性があります。慢性炎症を防ぐためには除菌をすることが第一ですし、アルコール性肝炎ならお酒をやめた方がいいし、リーキーガット症候群ならグルテンフリーの食事に変えるなど対策を取るべきです。このように、がんの元となる慢性炎症の原因を断つことが「がんに嫌われるからだ」をつくるためには大切です。

慢性炎症を予防するにあたり、究極の物質は水素です。先ほど活性酸素の話をしたので、「活性酸素＝悪」とも馴染みが深い慢性炎症の例を挙げると、「リーキーガット症候群(腸管壁浸漏)」があります。これは慢性腸炎になります。他にも、胃がんの原因の「と思われたかもしれません。しかし、活性酸素にはスーパーオキシド、過酸化水素、一重項酸素、ヒドロキシラジカルの4種類があり、4つとも除去してしまうと逆に免疫が落ちてしまうのです。スーパー・オキシドと過酸化水素は、免疫ががんを退治し、神経

伝達に使用される活性酸素で、消してはいけないものです。腸内細菌のようになります。活性酸素にも善玉や悪玉があることを知つてもらいたいのですが、老化や細胞障害を起こす悪玉活性酸素がヒドロキシラジカルなのです。これはミトコンドリアがエネルギーを生成した際に必ず発生させるのですが、ヒドロキシラジカルだけは体内で消去できない活性酸素なのです。水素は体内に必要な善玉活性酸素を残し、このヒドロキシラジカルを水に変えることで消去できるからこそ、注目を集めています。当院では水素ガス吸入療法をがん治療のベースにしていて、遠方の方には水素ガス発生機のレンタルにも対応しています。水素のがん治療への応用はまだ研究の途上ではありますが、今後研究が進んでいくことでがん治療の一つの巧妙になると考へています。

萬先生の治療に欠かせないアイテム 「ゼンティグリス」が空間を活性化

萬憲彰先生が提唱する「統合腫瘍治療」において、さまざまな治療を提供する「よろずクリニック」と「WELL BEING GROUP 0」。実は、萬先生の治療には欠かせないものがそこにはあったのです。

クリニックを支え、来院される患者さんにも
良い影響をもたらす重要なアイテムを
ご紹介します。

写真／竹内進岳



電磁波に悩まされない至高の癒し空間を形成
医療施設、オフィス、各種学校、福祉施設などに、
マンション、一軒家にも

ゼンティグリス

550,000円(税込)
サイズ:縦29×横62×高さ33(mm)本体のみ

お好みの場所のコンセントに挿してください。

コンセントに挿して
空間そのものを変える

萬先生インタビューでも話されていましたように、萬先生は自身のアンテナにヒットしたものを貪欲に取り入れてこられました。それは治療法だけに限つた話ではありません。治療に役立つものや患者さんに恩恵があるものは、アイテムでも積極的に試してきたのです。萬先生に、「今ではクリニックに欠かせない存在となっているもの」を紹介していただくと、温熱療法ハイパーサーミアの機械がある部屋へと案内され、室内のコンセントを指差されました。コンセントには二つの黒い物体が挿されていたのです。

よろずクリニックに来院される患

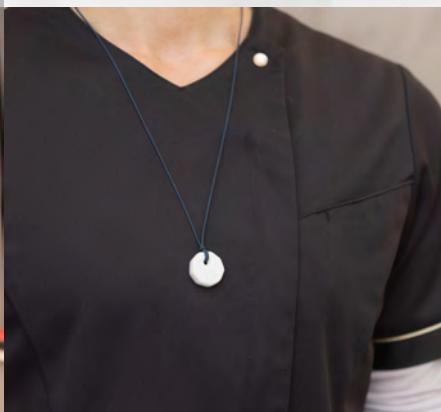
者さんで、電磁波による影響が疑われる症状がある方にはペンドントを貸与して体験してもらうこともあるそうです。さらに、ゼンティグリスに対して、「空気が澄んできた感じが違いますね。ウェルビーリングのサロンに来られた方で、入った瞬間に違いを感じる方もいらっしゃいます。神社の境内やパワースポットにいるようだという言葉をかけていただいたこともあります」というコメントもいたしました。大なり小なり電磁波の影響を受ける現代人にとっての救世主となるのが、リトスセラミックシリーズなのです。

えて早急に手を打ちたいと思つていました。そんなときにとある学会でこのシリーズに出会い、その場で効果を実感し、即決で購入しました。最初はガンマプロ(左ページ参照)を購入したのですが、ハイパーサーミアを導入した現在ではゼンティグリスを複数使用しています。コンセントだけではありません。リトスセラミックにはペンドントタイプもあるのですが、そちらはスタッフ全員にも配布して身につけてもらっています。電磁波による健康被害を軽減させられるものに対しては、すべて手を打つてあげたいと

いう想いがあります」(萬先生談)

「これはコンセントに挿すだけで空間や体を活性化してくれるリトスセラミックの「ゼンティグリス」です。ハイパーサーミアは高周波(ラジオ波)を用いて病巣を温めることでがん細胞を死滅させる温熱療法ですが、当然起動させるとかなりの高周波を発します。このマシンだけでなくマイクロウェーブという温熱治療器もそうですが、階下を挟んだ診察室でパソコン操作をしているとマウスが動かなくなることが多々あり、さらに使用している最中には私自身に動悸の症状が出たこともあります。人体への影響も考

よろずクリニックの電磁波対策の秘密に迫る



高周波温熱治療「ハイパーサーミア」を設置している部屋(写真参照)には、ゼンティグリスをコンセントに2個挿して電磁波による影響を軽減させています。マシンのスイッチを入れた後に発生していたモワッとした感覚がなくなり、体がかなり楽になりました。スタッフも全然違うと喜んでいます。

「ハイパーサーミア」が設置されている WELL BEING GROUP 0(ウェルビンググループゼロ)のブレーカー部分を特別に見せていただくと、ここにもゼンティグリスが挿していました。それ以外にも、勤務するスタッフへの電磁波の影響を抑えるため、ペンダントタイプが全員に支給されています。

コンセントに挿すだけ、身に着けるだけで、癒しの体感！

リトスセラミックのコンセント&ペンダントシリーズ

大学研究機関による各種臨床検査にて安全性を確認



ガンマプロ
148,500円(税込)
サイズ:縦28×横50×高さ30
(mm)本体のみ

コンセントに挿すだけで、屋内に張り巡らされた電気配線を利用して住宅全体に癒しのエネルギーを放出。



フリーエレクトロン
385,000円(税込)
サイズ:縦28×横50×高さ30
(mm)本体のみ

「ガンマプロ」のエネルギーレベルをさらに高めたパワーアップアイテム。



ゼンティグリス Cタイプ
275,000円(税込)
サイズ:縦21×横34×高さ16
(mm)本体のみ

自動車やパソコン、スマートフォンのUSB TypeCポートに。最高峰のゼンティグリスを携帯可能にしたアイテム。



**ダイヤモンド
ドリームペンダント**
88,000円(税込)
サイズ:17(mm)

身に着けるだけでおなかの奥の温度が上がり、気持ちを穏やかに。



**ライフクリニック
ペンダント**
165,000円(税込)
サイズ:21(mm)

「ダイヤモンドドリーム」の機能をさらに高めたペンダント。ストレス要因から体を守る。



**ウルトラワン
ペンダント**
275,000円(税込)
サイズ:22(mm)

ペンダントシリーズの最高峰。静養中の方やメンタルケアをしたい方、プロのアスリートの方にもおすすめ。